新井自治協議会

地域づくり10年計画

（令和8～17年度）



新井ふれあい

新井ふれあい

みんなで創る新井の未来

SUSTAINABLE GOALS

新井自治協議会　地域づくり 10 年計画（令和 8～17 年度）

（丹波市総合計画・柏原地区アンケート結果・新井地区のこれまでの計画を踏まえた改定）

1．はじめに

1-1 計画策定の趣旨（改定版）

新井自治協議会は、交付金制度開始に合わせた再編以降、交流拠点整備、地域教育、安心安全、環境文化、健康交流、地域活性化など多面的な活動を積み上げ、地域内の「顔の見える関係」を広げてきた。

一方で、人口減少・少子高齢化、担い手不足、災害の激甚化、物価・エネルギー高騰、財政制約の強まりにより、従来の“頑張り方”だけでは地域運営が維持しにくい局面に入っている。

そこで本計画は、丹波市総合計画の将来像と整合を取りながら、①推進体制の見直し・強化（担い手分散と DX）、②事業の焦点化・重点化（子ども／安心安全／つながり／環境／地域経済）を柱に、今後 10 年の地域づくりを「実行できる形」に再構築することを目的とする。

2．現状整理（新井地区の強み・課題）

2-1 強み

- 歴史文化資源・自然環境と触れ合う施設がある
- 学校・病院等の公共施設が近く、工業団地・大型商業施設も近接し生活利便性が高い
- 新旧住民の関係が「子どもを媒介」に育ち始め、女性活動など新しい芽が生まれている
- これまでの事業蓄積により「協働の土台（顔の見える関係）」がある

2-2 課題（10 年計画で優先して解くべきもの）

1. **担い手不足・組織疲労**（役員偏重、事務負担、各団体の人手不足）
2. **子ども環境の弱体化**（少子化、スポーツクラブ縮小、居場所不足、学び支援）
3. **高齢者・生活弱者の増加と移動課題**（車がないと住みにくい、買い物空白）
4. **防災・安全不安の増大**（水害・土砂、急変時対応、情報伝達）
5. **農地・山林・生活環境の維持管理**（荒廃、除草・美化の担い手不足）
6. **多文化共生・人権**（外国人住民の増加に対し、交流と理解の機会が不足）
7. **財源縮小下の事業選択**（助成金減少に対応した重点化・自走化が必要）

3．新井地区の将来像（10 年版）

3-1 将来像　～住んでよかった心豊かな“新井の郷”～　«安心安全・絆・笑顔»

（丹波市総合計画の将来像「まなび ときめく…」と整合：まなび＝子ども・学び、まごころ＝支え合い、未来へ＝持続可能運営）

3-2 10 年の基本目標（5 本柱）

1. **子どもが育つ地域**　（学び・遊び・体験・居場所）
2. **心豊かな安全安心**　（防災・防犯・見守り・福祉）
3. **つながりの再構築**　（新旧住民・女性・若者・多文化共生）

4. **環境と文化の継承**　　（里山・美化・歴史文化・健康）
5. **持続可能な運営**　　（担い手分散・DX・企業連携・財源多様化）

---

4. 重点プロジェクト（10 年で必ず形にする“焦点化”）P＝プロジェクト

P1：子ども・子育て・学びの拠点化（こども食堂×学習×体験）

- こども食堂を「食」だけでなく、学習時間・見守り・世代交流・多文化理解を組み合わせた拠点へ
- 夏休みチャレンジ学習と連携し、年間の学び支援に広げる

P2：防災“実働”強化（名簿＋訓練＋情報）

- 防災事業の推進、災害だけでなく人口減少等の諸課題に対応
- 要支援者支援（見守り・声かけ・避難手順）
- LINE 等の**デジタル連絡網**整備

P3：地域維持管理の省力化（無線草刈り機・外部連携・要綱化）

- 無線草刈り機の導入と運用要綱
- 農会や自治会協力で除草を“仕組み”化
- 美化活動・花いっぱい運動を維持できる体制へ

P4：新井発祥“囲碁ボール”を核にした健康・交流モデル

- 子ども～高齢者まで参加できるニュースポーツとして定着
- 交流・健康・地域 PR の三位一体（大会＋体験会＋講習）

P5：自治協議会の DX と担い手分散（事務負担を半減）

- 回覧・申込・会計・名簿・議事録のデジタル化
- 役割細分化（小さな参加を増やす）と人材育成（研修）

---

5. 施策体系

5-1 地域教育支援（子ども）

- 夏休みチャレンジ学習（学習時間＋こども食堂）
- 遊び・学びの場（センター・自治会館の開放）
- 新井塾（地域史・伝承・防災学習の統合）

5-2 暮らしの安全安心

- 防災研修会／AED・資機材整備
- 百歳体操の推進
- 見守り体制（民生委員・自治会・学校との連携）

5-3 豊かな環境文化

- 歴史学習等
- 花いっぱい、美化活動

5-4 地域活性化（農・新しい試み）

- 黒豆菓子（ポン菓子等）など地域内循環

- 大学生等外部人材・デジタル活用の“新しい試み”

5-5 健康ふれあい

- ラジオ体操、健康教室、ウォーキング

5-6 地域づくり推進（広報・研修・DX）

- HP・LINE・Instagram 等で発信
- 役員研修、担い手育成
- 会計・回覧・申込の DX

5-7 拠点施設（ふれあいセンター）維持・更新

- 保険・修繕・備品更新の中長期計画
- 施設を「地域の学び・交流・支援拠点」として機能強化

---

6. 数値目標（KPI：10 年）KPI＝重要業績評価指標

子ども・学び

- こども食堂（学習連携）開催：年 12 回 → 年 18 回（段階的）
- 延べ参加者：年 400 人 → 年 600 人
- 夏休みチャレンジ学習：参加延べ 200 人以上／年

安全安心

- 防災研修・訓練：年 1 回以上（自治会長＋住民）
- 防災連絡網（LINE 等）登録：世帯の 20%→50%
- 要支援者の個別支援手順：対象者の 100%整備（関係者共有）

維持管理

- 除草の省力化（無線草刈り機＋委託）：対象エリアの 30%→60%
- 美化活動参加：年 1 回以上の実施を維持（参加者数の下げ止め）

健康交流

- 囲碁ボール体験会：年 1 回以上

運営

- 会計・回覧・申込の DX：主要手続きの 80%電子化
- 役員の事務作業時間：現状比 20%削減→40%削減

---

7. 10 年ロードマップ（令和 8～17 年度）

第 1 期：基盤整備（R8～R10）

- DX 導入の基礎（LINE・フォーム申込・会計様式統一）
- こども食堂×学習の仕組み化
- 防災研修・マップ更新・連絡網整備
- 無線草刈り機：調査→要綱→試行導入
-

第 2 期：展開・連携（R11～R13）

- こども・高齢者支援を“常設型”へ（協力者拡大）
- 地域自治会・企業等との維持管理連携を確立
- 囲碁ボールを地域ブランドとして定着（対外イベント連携）
- 多文化共生（食と交流の人権教育）を年 2 回以上へ

第 3 期：自走・継承（R14～R17）

- 次世代役員・担い手育成の仕組み化（若者・女性・新住民）
- 重点事業の財源多様化（協賛・寄付・参加費・共同事業化）
- 拠点施設の更新計画（中修繕・備品更新）を確立
- 「住んでよかった新井」の実感指標（満足度）向上

---

8. 推進体制（“役員依存”を解消する設計）

8-1 組織（モデル）

- **総合調整会議**（自治協役員＋各自治会＋主要団体）年 1 回
- **重点 PJ チーム（P1～P5）**：各 PJ にリーダー・副リーダー・会計担当
- **事務局（ふれあいセンター）**：文書・会計・広報の標準化

8-2 参加設計（小さな参加を増やす）

- 当日ボランティア（受付・見守り・調理補助）
- 得意分野参加（広報、写真、SNS、会計補助、運転など）
- 学生・若者枠（短時間参加／証明書発行も可）

令和 8 年度 新井自治協議会 事業計画

（10 年計画の第 1 期・初年度として“基盤整備”を優先）

1. 基本方針（R8 年度）

- **自助・共助の強化**：災害・急変・孤立への備え
- **世代を超えた支え合い**：子ども・高齢者・多文化共生を「場」でつなぐ
- **持続可能な地域運営**：DX と役割分散で、無理なく続く仕組みへ

2. 重点実施（R8 年度の 3 重点）

1. **こども食堂×学習連携の実装（モデル化）**
2. **防災（研修＋連絡網整備）の着手**
3. **無線草刈り機導入検討（要綱づくり開始）**

令和 8 年度 新井自治協議会 事業計画のポイント

1. 8 年度は、総会事業計画を基に事業の推進

2. 成果としてめざす姿

- 子ども・高齢者・外国人住民が 同じ場でつながる

- 防災時に**「誰が何をするか」分かる**
- 役員だけが頑張らない **続く地域運営**

---

④【令和 9 年度以降】ローリング 10 年計画（年度更新表）

年度	想定重点	交付金活用の考え方
R8	移行準備	計画見直し・実証・基盤整備
R9	実装①	無線草刈り機本格導入・居場所拡充
R10	実装②	子ども・高齢者支援の常設化
R11	連携	企業・学校・広域連携
R12	定着	担い手育成・女性活躍
R13	省力化	維持管理・DX 拡張
R14	更新	施設中修繕・備品更新
R15	継承	次世代役員育成
R16	安定	自走化（協賛・寄附）
R17	検証	次期計画策定

※ 各年度の事業費は「交付枠確定後に更新」

新井自治協議会　地域づくり１０年計画　（令和８～１７年度）

住んでよかった
心豊かな“新井の郷”
（安心安全・絆・笑顔）



５つの基本目標

こどもが育つ地域	心豊かな安全安心	つながりの再構築	環境と文化の継承	持続可能な地域運営
学び・遊び・体験・居場	防災・防防・見守り・福祉	女性・若者・多文化	里山・美化・歴史文化	担い手・ＤＸ・財源

主な事業

こども食堂	防災研修	地域交流	歴史文化学習	自治協 DX
学習支援・新井塾	防災連絡網	多文化交流	花いっぱい運動	回覧・申込・会計

重点プロジェクト

- P1 こども拠点づくり
- P2 防災実働強化
- P3 地域維持管理省力化
- P4 囲碁ボール普及
- P5 DX 推進

新井ふれあいセンター

地域交流・学習・防災の拠点

新井自治協議会地域づくり 10 年計画（令和 8～17 年度）

【将来像】

住んでよかった心豊かな “新井の郷”（安心安全・絆・笑顔）

【5 つの基本目標】

① 子どもが育つ地域
（学び・遊び・体験・居場所）
- ├ こども食堂
- ├ 夏休みチャレンジ学習
- ├ 学習支援・見守り
- └ 新井塾（歴史・文化・防災学習）

② 心豊かな安全安心
（防災・防犯・見守り・福祉）
- ├ 防災研修・避難訓練
- ├ 防災連絡網（LINE 等）
- ├ AED・資機材整備
- └ 高齢者見守り体制

③ つながりの再構築
（新旧住民・女性・若者・多文化）
- ├ 多文化交流
- ├ 地域交流イベント
- ├ 女性・若者活動支援
- └ 世代交流活動

④ 環境と文化の継承
（里山・美化・歴史文化・健康）
- ├ 花いっぱい運動
- ├ 環境美化活動
- ├ 歴史文化学習
- └ ウォーキング・健康活動

⑤ 持続可能な地域運営
（担い手分散・DX・財源多様化）
- ├ 自治協 DX（回覧・申込・会計）
- ├ 担い手育成
- ├ 外部人材連携
- └ 企業・団体協力

【重点プロジェクト】

P1 こども食堂 × 学習拠点化
P2 防災実働強化
P3 地域維持管理省力化（無線草刈り機）
P4 囲碁ボールによる健康交流
P5 自治協議会

【推進拠点】

新井ふれあいセンター
（地域交流・学習・防災・福祉の拠点）